

## 理事長コメント（参加型システム研究所・理事会で）

### 2008年4月

- ・福田内閣の支持率が急降下して23－26％、不支持が急増して51－57％になった。政権は末期症状で解散もできず、総辞職しかなくなってきた。山場は山口補選、ガソリン税再値上げの衆院再議決が計画されている4月末になる。
- ・読売の世論調査によれば、93年以降増え続けてきた改憲支持が初めて減り、僅かながら改憲反対が上回った（43％：42％）。改憲反対の論拠に「世界に誇る平和憲法だから」をあげた人が54％、「九条を変えるべきでない」と答えた人が60％を占めた。小泉内閣以来右傾化し続ける政治に対し、世論が警戒し始めたのではないか。
- ・日教組の教研集会に会場提供を断った高輪プリンスホテル、映画「靖国」の上映を一斉に取りやめた東京の映画館など、「(右翼の街宣車による) 近隣の迷惑」を理由に集会の自由、表現の自由を侵害する事件が相次いでいる。映画のほうは各方面からの抗議で、上映復活の方向だが、プリンスホテルは改めようとしなない。こうした風潮には厳しく対処しないと、国民の権利がしだいに切り刻まれていく。